

2020年3月期第3四半期 決算報告

2020年2月14日

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life
Holdings

- 第一生命ホールディングス 経営企画ユニット ユニット長の西村です。
- 本日は、第一生命グループの2020年3月期第3四半期決算報告の電話会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。
- 私から資料に沿って、4ページまでで決算内容の概要についてご説明し、残りの時間を質疑応答とさせていただきます。
- 1 ページをご覧ください。

1. 【営業業績】国内新契約は、引き続き、第三分野商品が牽引

- 新契約年換算保険料は、経営者保険の販売停止の影響で前年同期を下回るものの、第三分野商品販売は引き続き堅調
- 第一生命において、2018年12月販売開始の「認知症保険」は累計販売件数が18万件を突破、2019年9月販売開始の「就業不能保険」も、20代～30代への販売を中心に10万件を販売する高い伸び

2. 【連結利益】グループ修正利益は、海外生命保険事業・DFL増益により、大幅増加

- 第一生命は、基礎利益の減少や金融派生商品損益の悪化を有価証券売却損益の改善が補い、修正利益は横這い
- 海外生命保険事業は、米PLCの既契約ブロック買収効果の反映や第一生命ベトナムの利益改善などにより増益
- DFLは、事業利益の増加の他、運用期間満了を迎えた変額年金の危険準備金戻入などが寄与し、修正利益は増益
- グループ修正利益は、期始通期予想に対して高い進捗にあるが、第一生命において、昨年度に実施した既契約ブロックの出再によるリスク削減を今年度も検討中であり、その影響などを考慮し、通期予想は据え置き

3. 【トピック】豪TALは、大型団体保険契約を予定通り獲得

- 豪TALが大型団体保険契約を獲得し、新契約年換算保険料は前年同期比4倍超（約600百万豪ドル増）と、大幅に増加

【会社名略称】 DFL：第一フロンティア生命 PLC：プロテクトイブ

1

- 今回の決算のポイントを以下の3点にまとめました。
- まず営業業績についてです。今年度の国内3生保の新契約年換算保険料は、経営者保険の販売停止の影響や国内外の金利低下による貯蓄性商品ニーズの減速などにより、全体として減少しましたが、第三分野商品の販売は堅調に推移し、第三分野の新契約年換算保険料は前年同期比で増加しました。
- 第一生命では、2018年12月販売開始の「認知症保険」に加え、2019年9月に販売を開始した「就業不能保険」も高い契約件数の伸びとなっています。
- 第二に、連結利益については、グループ修正利益が前年同期比+38%増加の大幅な増益となりました。
- 第一生命は、基礎利益が期初想定の通り減少したほか、市場変動に伴い、金融派生商品損益が悪化したものの、有価証券売却損益の改善が補い、修正利益はほぼ横這いとなりました。
- 海外生命保険事業におけるプロテクトイブの既契約ブロック買収効果の反映や第一生命ベトナムの利益改善に加え、第一フロンティア生命における、運用期間満了を迎えた変額年金の最低保証に係る危険準備金の戻入益の発生が寄与し、グループ修正利益は増益となりました。
- 通期予想については、グループ修正利益が高い進捗率にありますが、第一フロンティア生命の危険準備金戻入が第3四半期までで一巡することや、今後の市場変動の影響、また、第一生命において、昨年度に実施した既契約ブロックの出再によるリスク削減を今年度も検討していることなどから、その影響を考慮し、据え置きとしています。
- 最後に、第3四半期のトピックとして、第2四半期決算報告でお知らせした通り、TALが大型団体保険契約を獲得し、新契約年換算保険料は前年同期比4倍に増加しました。
- 次のページをご覧ください。

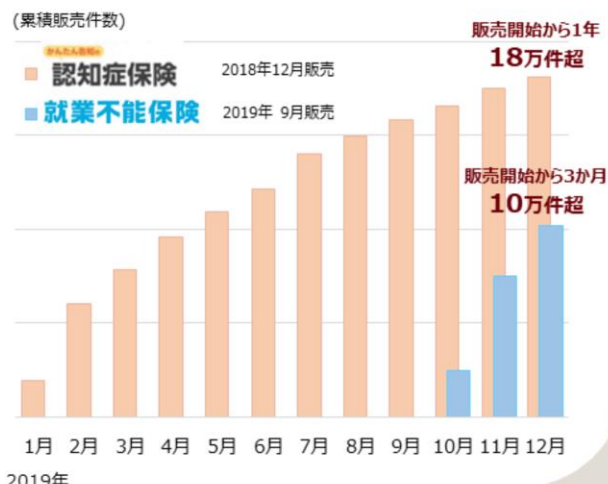
- 国内の新契約年換算保険料は、経営者保険の販売停止などにより大きく減少したが、第三分野商品販売は堅調に拡大し、経営者保険以外の第三分野商品では、前年同期比+14%増加
- 第一生命の新商品「認知症保険」「就業不能保険」とともに、販売開始以降、順調に販売件数を拡大

国内生命保険事業・新契約年換算保険料

(億円)	19/3期		20/3期	
	3Q累計	除く経保 ⁽¹⁾	3Q累計	除く経保 ⁽¹⁾
国内生命保険事業	3,150	2,200	1,658	1,640
第一生命	695	592	662	649
第一フロンティア生命	1,567	1,567	922	922
ネオファースト生命	888	40	72	67
うち第三分野商品	461	413	475	474
第一生命	422	374	409	409
ネオファースト生命	38	38	65	65

前年同期比+14%
 うち第一生命 +9%
 うちネオファースト生命 +71%

第一生命における第三分野新商品の販売件数



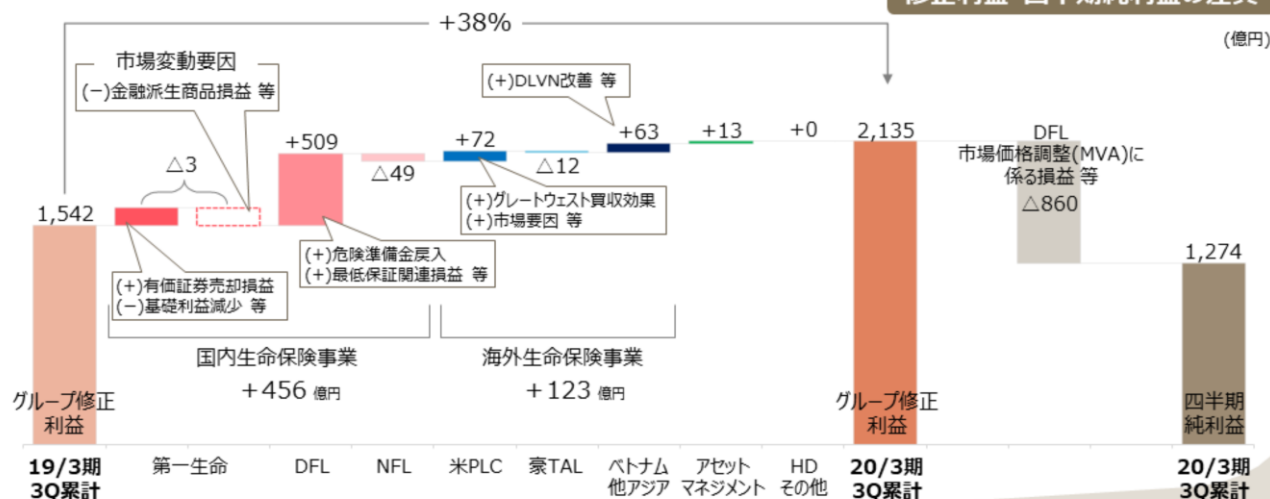
(1) 19年2月より販売停止としていた経営者向け保険商品を除く。8月より第一生命の営業職員等の専属チャネル、9月より代理店にて販売を再開しています。

- こちらは国内営業業績の詳細を示しています。
- 左の表は、国内3生保の新契約年換算保険料の前年同期との比較になります。2019年2月から7月までの経営者保険の販売停止などにより、全体では大きく減少していますが、第一生命・ネオファースト生命では、主力である第三分野商品販売を順調に拡大し、経営者保険以外の第三分野商品は、2社合計で+14%増加しました。
- 右のグラフは、第一生命の新商品である、「認知症保険」「就業不能保険」の販売件数を示しています。第一生命では、第三分野商品を戦略的に拡大しており、両商品の販売件数が順調に拡大しています。特に、2019年9月に販売を開始した「就業不能保険」は、販売件数の約6割を20代・30代が占めるなど若年層への訴求力は高く、3か月での契約件数は約10万件を超え、「認知症保険」を上回るペースとなっています。
- 次のページをご覧ください。

- グループ修正利益は、第一生命が基礎利益の減少や金融派生商品損益の悪化を有価証券売却損益の改善が補い、横這いとなった一方、DFLが大幅増益となったほか、海外生命保険事業も米PLCやDLVNを中心に増加し大幅増益
- 純利益は、第一フロンティア生命の金利低下に伴う市場価格調整(MVA)に係る損益の影響などにより減益

グループ修正利益・変動要因

修正利益・四半期純利益の差異



[会社名略称] DFL：第一フロンティア生命 NFL：ネオファースト生命 PLC：プロテクトタイプ DLVN：第一生命ベトナム

3

- こちらは連結利益について、グループ修正利益・四半期純利益のポイントを示しています。
- グループ修正利益は、前年同期比+38%増加の2,135億円となりました。
- 第一生命は、基礎利益が期初想定の通り減少したほか、市場変動に伴い、金融派生商品損益が悪化したものの、有価証券売却損益の改善が補い、ほぼ横這いとなりました。第一フロンティア生命では、危険準備金の戻入に加え、最低保証関連損益の改善もプラス寄与しています。また、海外生命保険事業は、プロテクトタイプや第一生命ベトナムを中心に増益となりました。
- 右側にお示した純利益は、グループ修正利益から大きく変動していますが、金利低下の影響により、第一フロンティア生命において市場価格調整(MVA)に係る評価性の損益が発生しているためです。
- 次のページをご覧ください。

■ 連結純利益、グループ修正利益ともに、通期予想は据え置き

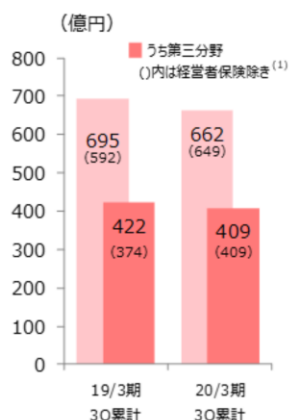
(億円)					<参考>	
	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計 (a)	前年同期比		20/3期 (予) ※2019/5/15 発表予想(b)	進捗率 (a/b)
連結経常収益	52,893	53,666	+ 772	+ 1%	69,310	77%
第一生命	26,627	26,685	+ 57	+ 0%	34,850	77%
第一フロンティア生命	15,201	14,364	△ 836	△ 6%	16,950	85%
プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	6,896	9,044	+ 2,148	+ 31%	10,370	87%
TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	2,816	4,204	+ 1,387	+ 49%	4,890	86%
連結経常利益	2,935	2,619	△ 315	△ 11%	4,170	63%
第一生命	2,325	2,292	△ 32	△ 1%	3,140	73%
第一フロンティア生命	240	△ 165	△ 405	--	410	--
プロテクト (百万米ドル)	328	433	+ 105	+ 32%	430	101%
TAL (百万豪ドル)	107	92	△ 14	△ 14%	230	40%
連結四半期純利益 ⁽²⁾	1,508	1,274	△ 234	△ 16%	2,260	56%
第一生命	1,122	1,104	△ 17	△ 2%	1,510	73%
第一フロンティア生命	119	△ 208	△ 328	--	300	--
プロテクト (百万米ドル)	265	347	+ 81	+ 31%	350	99%
TAL (百万豪ドル)	74	61	△ 13	△ 18%	160	38%
グループ修正利益	1,542	2,135	+ 593	+ 38%	2,400程度	89%

- (1) 米プロテクトおよび豪TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しています。
連結の際には、それぞれ1米ドル=113.57円 (19/3期3Q)、107.92円 (20/3期3Q)、1豪ドル=78.18円 (19/3期3Q)、76.52円 (20/3期3Q) で円換算しています。
- (2) 連結四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。

- こちらは連結業績概要と通期予想になります。
- グループ修正利益が通期予想との比較で高い進捗率にありますが、第一フロンティア生命の変額年金の最低保証に係る危険準備金の戻入が第3四半期までで一巡することや、今後の市場変動の影響、また、第一生命において、昨年度に実施した既契約ブロックの出再によるリスク削減を今年度も検討していることなどから、その影響を考慮し、通期予想を据え置きとしています。
- 一方、連結純利益においては、加えて、今後の市場変動に伴う第一フロンティア生命の市場価格調整(MVA)に係る損益の動向を見極める必要がありますが、現時点で修正はありません。
- 私からの説明は以上です。ありがとうございました。

- 新契約年換算保険料は、保障性商品の販売が堅調に推移し、経営者保険以外では増加を確保
 - 基礎利益は、順ざやが減少したことなどから減益となったが、期始見通しに沿った推移
- 四半期純利益は、市場変動に伴い金融派生商品損益が悪化したものの、有価証券売却損益の改善が補い微減

新契約年換算保険料

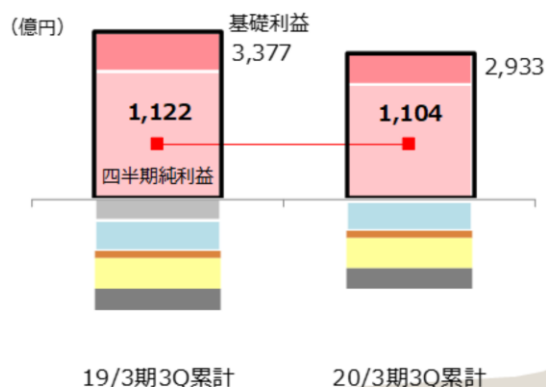


保有契約年換算保険料



基礎利益・四半期純利益の構成要素

- 基礎利益
- 順ざや
 - 保険関係損益
- 基礎利益の構成要素
- キャピタル損益
 - 追加責任準備金・危険準備金繰入額等
 - 特別損益
 - 契約者配当準備金繰入額
 - 法人税等合計
 - 四半期純利益



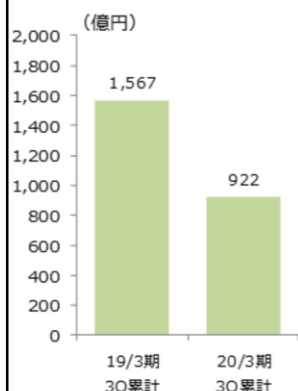
	19/3期3Q累計	20/3期3Q累計	増減
四半期純利益	1,122	1,104	△17
修正利益	1,108	1,104	△3

(1) 19年2月より販売停止としていた経営者向け保険商品を除く。8月より第一生命の営業職員等の専属チャネル、9月より代理店にて販売を再開しています。

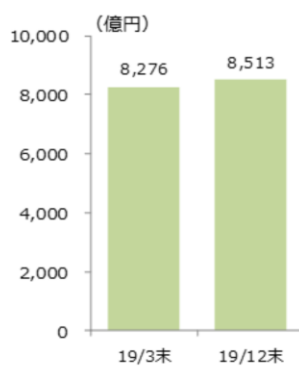
- 新契約年換算保険料は、経営者保険の販売停止などにより全体で減少しましたが、経営者保険を除く第三分野商品では、「認知症保険」や「就業不能保険」などの商品展開が奏功し、前年同期比で増加を確保しています。
- 基礎利益は、円高・低金利環境継続の影響に加え、利回りの高い債券等の償還タイミングが影響したこともあり、順ざやが減少したことなどから減益となりましたが、期始の想定に沿った動きです。
- 四半期純利益については、金融派生商品損益が悪化しましたが、低金利環境が続く中、外国債券の入替による売却損計上が減少し、有価証券売却損益が改善した結果、前年同期比でほぼ横這いとなりました。

- 新契約年換算保険料は、昨年度に販売が好調であった反動や海外金利の低下の影響などから引き続き減少したものの、保有契約年換算保険料は前年度末比で増加
- 市場価格調整(MVA)に係る損益の影響により、純利益は赤字となったが、修正利益は運用期間満了を迎えた変額年金の危険準備金戻入や最低保証リスク関連損益の改善などにより大幅増益

新契約年換算保険料

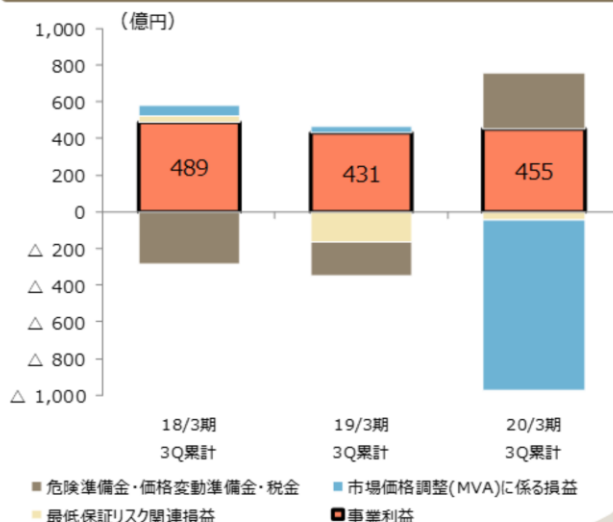


保有契約年換算保険料



	19/3期3Q累計	20/3期3Q累計	増減
四半期純利益	119	△208	△328
修正利益	92	601	+509

事業利益・四半期純利益の構成要素

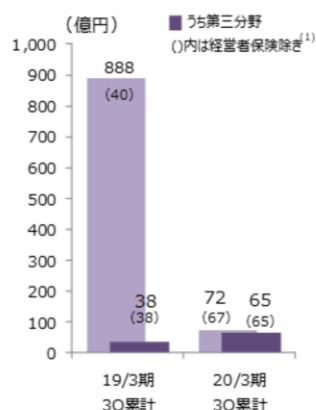


事業利益は、純利益から最低保証リスク関連損益、市場価格調整(MVA)に係る損益、危険準備金の繰入等を除いた基礎的な収益力を表す内部管理指標です。

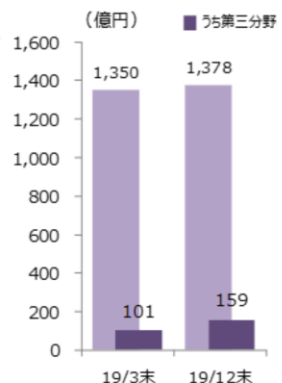
- 新契約年換算保険料は、昨年夏以降の海外金利の低下の影響などにより、販売が好調であった前年度から反動減となった一方で、保有契約年換算保険料については順調に増加しました。
- 四半期純利益は、金利低下に伴う市場価格調整(MVA)に係る損益の影響で第2四半期に続き赤字となりましたが、市場価格調整に係る損益を含まない修正利益では、運用期間満了を迎えた変額年金の危険準備金戻入に加え、前年同期に大きく悪化した最低保証リスク関連損益の改善もあり、大幅な増益となりました。
- なお、過去の変額年金契約からの危険準備金戻入は、第3四半期までで一巡する見込みです。

- 新契約年換算保険料は、昨年度に販売が拡大した経営者保険の販売停止により大きく減少したが、主力の医療保険など第三分野商品は、新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料ともに順調に拡大
- 修正利益は減益となったが、医療保険の販売拡大に伴う事業費増加が主な要因

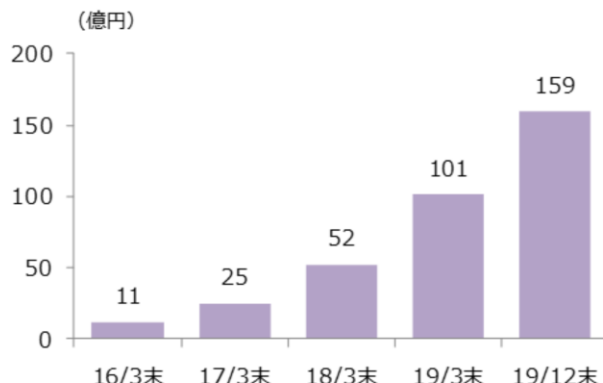
新契約年換算保険料



保有契約年換算保険料



第三分野保有契約年換算保険料



(億円)

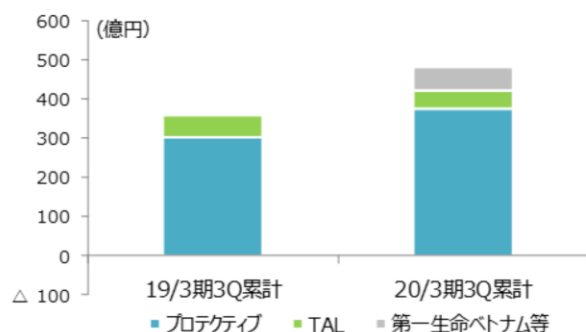
	19/3期3Q累計	20/3期3Q累計	増減
四半期純利益	△60	△110	△49
修正利益	△60	△110	△49

(1) 19年2月より販売停止としていた経営者向け保険商品を除く。8月より第一生命の営業職員等の専属チャネル、9月より代理店にて販売を再開しています。

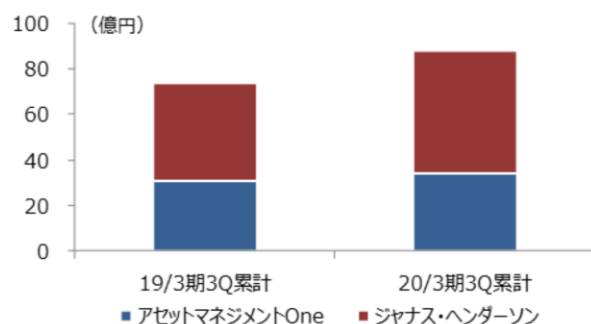
- 新契約年換算保険料は、昨年度に販売が拡大した経営者保険の販売停止により大きく減少したものの、主力である医療保険を中心とする第三分野商品については、新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料ともに、引き続き順調に拡大しました。
- 修正利益は、事業費の増加などから減益となりましたが、医療保険の販売が好調に推移していることによるものです。

- 海外生命保険事業は、豪TALが減益となったが、米プロテクトにおけるグレートウェストの既契約ブロック買収効果や第一生命ベトナムの利益改善などにより大幅増益
- アセットマネジメント事業は、ジャナス・ヘンダーソンの持分法投資損益が昨年度第2四半期から貢献

海外生命保険事業・四半期純利益



アセットマネジメント事業・四半期純利益



(億円)

	19/3期3Q累計	20/3期3Q累計
プロテクト	301	374
TAL	58	47
第一生命ベトナム等	△3	59
海外生命保険事業	356	481

(億円)

	19/3期3Q累計	20/3期3Q累計
アセットマネジメントOne	31	34
ジャナス・ヘンダーソン	43	54
アセットマネジメント事業	75	88

- 海外生命保険事業は、プロテクトの買収効果の反映や、第一生命ベトナムにおける前年同期の金利低下に伴う責任準備金の追加積立からの反動増もあり、増益となりました。
- また、アセットマネジメント事業では、ジャナス・ヘンダーソンの持分法投資損益が昨年度第2四半期から貢献していることを主因に増益となっています。

■ 大型既契約ブロック買収効果の反映などにより増益

<生保事業>

- 金利低下に伴う繰延新契約費用等の償却増加により減益

<買収事業>

- 6月に買収完了したグレートウェストの既契約ブロック買収が寄与し増益

<年金事業>

- 金利低下に伴う収益性低下や変額年金手数料収入の減少などにより減益

<ステーブルバリュー事業>

- 運用収入減少などにより減益

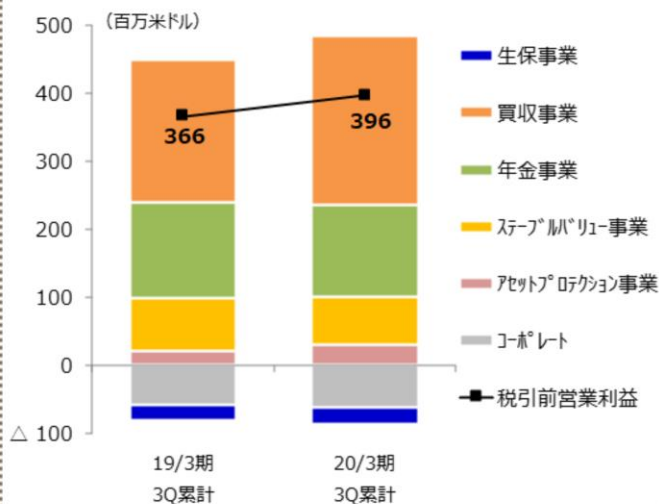
<アセットプロテクション事業>

- 損害率の改善や収入増加により増益

(億円)

	19/3期3Q累計	20/3期3Q累計	増減
四半期純利益	301	374	+72
修正利益	301	374	+72

税引前営業利益⁽²⁾



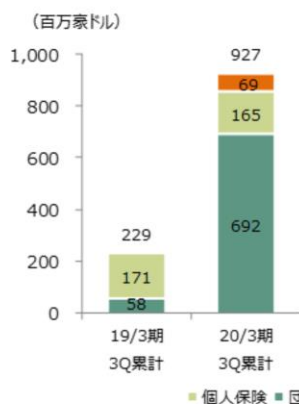
(1) プロテティブの決算日は12月31日です。

(2) 税引前営業利益(Pre-tax Adjusted Operating Income)とは、純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標です。

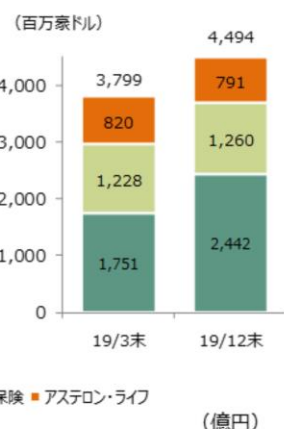
- 税引前営業利益は、米国金利低下の影響などにより生保事業が赤字となりましたが、6月に完了したグレートウェストの既契約ブロック買収の効果が反映されたことなどから、全体では増益となりました。

- 新契約年換算保険料および保有契約年換算保険料は、大型団体保険契約の獲得により大幅に増加
- 基礎的収益力は、法改正を契機とした団体保険の保険金支払の増加の影響などを受けて減益

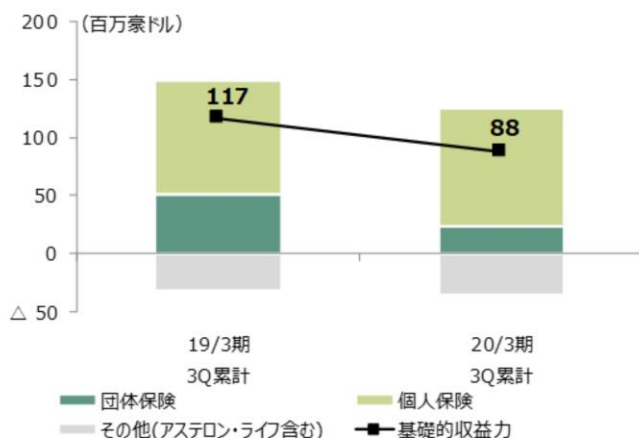
新契約年換算保険料



保有契約年換算保険料



基礎的収益力⁽²⁾



	19/3期3Q累計	20/3期3Q累計	増減
四半期純利益	58	47	△11
修正利益	66	54	△12

- (1) 連結対象の豪持株会社 (TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd) に係る数値
 (2) 基礎的収益力にはアステロン・ライフの統合に係るVOBA (value of business acquired) の償却・統合コスト等を含まない

- 新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料は、大型団体保険契約の獲得により大幅に増加しました。
- オーストラリアでは、強制加入の私的年金であるスーパー・アニュエーションに付帯される団体保険に対する法改正があり、過去一定期間拠出のないスーパー・アニュエーションの加入者は、7月以降、改めて保障継続の選択をすることが可能となりました。加えて、2020年4月には、保障継続の選択が可能となる対象範囲の拡大が予定されています。
- 基礎的収益力は、団体保険において一時的に契約者からの保険金請求が増加したことなどを受け、減益となりました。

グループEEV

- グループEEVは、新契約の獲得に加えて、プロテクティブによるグレートウェストの既契約ブロック買収の効果の反映(+500億円)や、株式の含み益増加が第一生命のEEVへプラス寄与したことなどにより増加

【第一生命グループ】

(億円)

	19/3末	19/12末 概算値	増減
グループEEV	59,365	約63,600	約+4,200
対象事業 (covered business) のEEV ⁽¹⁾	61,287	約64,600	約+3,300
修正純資産	71,278	約73,900	約+2,600
保有契約価値	△ 9,991	約△ 9,200	約+800
対象事業以外の純資産等に係る調整 ⁽²⁾	△ 1,922	約△ 1,000	約+900

(1) 対象事業 (covered business) とは、EEV原則で定められているEV手法を適用した範囲のことで、EEV原則では、対象事業のEEVを開示することを求めています。第一生命グループでは従前は、第一生命グループが行うすべての事業を対象事業としていましたが、2016年10月1日付の持株会社体制移行後は、生命保険事業を行う子会社（第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命、プロテクティブ、TAL、第一生命ベトナムおよびこれらの子会社）を対象事業としました。

(2) 「対象事業以外の純資産等に係る調整」には、第一生命ホールディングスの単体貸借対照表の純資産の部（19/3末：12,571億円、19/12末：12,964億円）、第一生命ホールディングスの生命保険事業子会社6社に対する出資に係る調整（19/3末：△14,666億円、19/12末：約△14,300億円）、第一生命ホールディングスが保有する資産・負債を時価評価する調整が含まれます。

- 2019年12月末のグループEEV(概算値)は、約6.3兆円となりました。
- グループ各社における新契約の獲得に加え、プロテクティブのEEVがグレートウェストの既契約ブロック買収により増加したことや、第一生命において保有する株式の含み益増加等が主な要因です。

EEV – ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (2)

グループ各社のEEV (億円)

	19/3末	19/12末 概算値	増減
第一生命	45,505	約47,200	約+1,600
修正純資産	60,590	約62,800	約+2,200
保有契約価値	△ 15,085	約△ 15,700	約△600
第一フロンティア生命	4,168	約4,700	約+500
修正純資産	4,294	約4,800	約+500
保有契約価値	△ 126	約△ 100	約+0

【参考】現地通貨建

(プロテクト：百万米ドル、TAL：百万豪ドル)

	18/12末	19/9末 概算値	増減	18/12末	19/9末 概算値	増減
プロテクト	6,627	約7,600	約+1,000	5,971	約7,000	約+1,100
修正純資産	4,241	約3,700	約△600	3,821	約3,400	約△400
保有契約価値	2,386	約3,900	約+1,500	2,150	約3,600	約+1,500
	19/3末	19/12末 概算値	増減	19/3末	19/12末 概算値	増減
TAL	3,399	約3,500	約+100	4,322	約4,600	約+300
修正純資産	1,759	約2,200	約+400	2,237	約2,900	約+600
保有契約価値	1,640	約1,300	約△300	2,085	約1,700	約△400

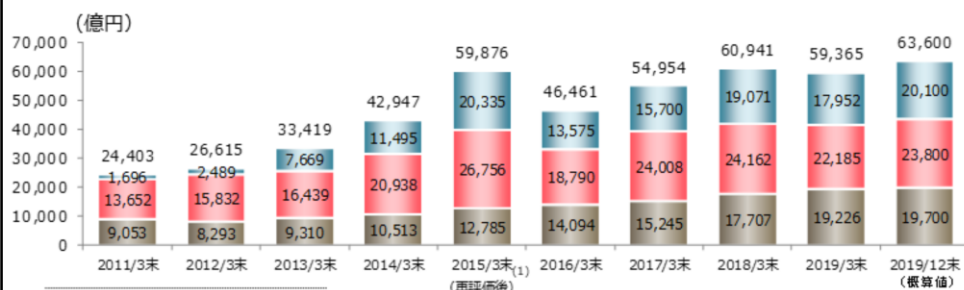
第一生命グループのEEV（億円）

	19/3末	19/12末 概算値	増減
グループEEV	59,365	約63,600	約+4,200
対象事業（covered business）のEEV	61,287	約64,600	約+3,300
修正純資産	71,278	約73,900	約+2,600
保有契約価値	△ 9,991	約△ 9,200	約+800
対象事業以外の純資産等に係る調整	△ 1,922	約△ 1,000	約+900

資産・負債の対応を考慮した再分類

	19/3末	19/12末 概算値
グループEEV	59,365	約63,600
確定利付資産以外の含み損益等 ⁽²⁾	17,952	約20,100
保有契約価値+確定利付資産の含み損益等 ⁽³⁾	22,185	約23,800
純資産等+負債中の内部留保 ⁽⁴⁾	19,226	約19,700

第一生命グループのEEV推移【資産・負債の対応を考慮した再分類】



保有契約価値+含み損益等：
保険契約の保有により生じる将来利益

確定利付資産以外の
含み損益等⁽²⁾

保有契約価値+確定利
付資産の含み損益等⁽³⁾

純資産等
+ 負債中の内部留保⁽⁴⁾
：実現利益の累積額に相当

(1) 2015/3末のEVは、終局金利を用いた方法による再評価後の数値を記載しております。

(2) 第一生命が保有する確定利付資産以外の資産（株式、外貨建債券（ヘッジ外債を除く）、不動産等）の含み損益等の額を計上しています。

(3) 保有契約価値に、第一生命の確定利付資産ならびに第一フロンティア生命およびネオファースト生命の資産の含み損益等を加算・調整した額を計上しています。本項目は、未実現利益のうち、主に金利の影響を受ける部分であり、金利水準等の変化に応じた、保有契約価値および確定利付資産の含み損益等の変動額は、お互いに相殺関係にあります。

(4) 対象事業のEEVの修正純資産に対象事業以外の純資産等に係る調整を反映し、含み損益等を除いた額を計上しています。

参考データ

第一生命グループ業績予想 – 2020年3月期業績予想

(億円)

	19/3期	20/3期 (予) ※2019/5/15 発表予想	増減
連結経常収益	71,840	69,310	△ 2,530
第一生命	37,395	34,850	△ 2,545
第一フロンティア生命	20,369	16,950	△ 3,419
プロテクト (百万米ドル)	8,717	10,370	+ 1,652
TAL (百万豪ドル)	3,917	4,890	+ 972
連結経常利益	4,329	4,170	△ 159
第一生命	3,466	3,140	△ 326
第一フロンティア生命	391	410	+ 18
プロテクト (百万米ドル)	383	430	+ 46
TAL (百万豪ドル)	153	230	+ 76
連結純利益⁽¹⁾	2,250	2,260	+ 9
第一生命	1,729	1,510	△ 219
第一フロンティア生命	199	300	+ 100
プロテクト (百万米ドル)	302	350	+ 47
TAL (百万豪ドル)	111	160	+ 48
1株当たり配当金	58円	62円	+4円
グループ修正利益	2,363	2,400程度	+ 36
(参考：基礎利益)			
第一生命グループ	6,058	5,100程度	△ 958
第一生命	4,791	3,900程度	△ 891

(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する純利益を記載しています。

第一生命グループ業績 - 契約動向

新契約年換算保険料

保有契約年換算保険料

(億円)

<参考>

第一生命のチャネル別新契約年換算保険料
(億円)

	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	前年 同期比	19/3末	19/12末	前期末比
国内 3 社計	3,150	1,658	△47.4%	30,924	31,031	+0.3%
第一生命	695	662	△4.7%	21,297	21,139	△0.7%
第三分野	422	409	△3.0%	6,752	6,900	+2.2%
第一フロンティア生命	1,567	922	△41.1%	8,276	8,513	+2.9%
ネオファースト生命	888	72	△91.8%	1,350	1,378	+2.1%
海外 3 社計	676	1,129	+67.1% (+72.4%)	8,634	9,385	+8.7% (+11.7%)
プロテクトタイプ ⁽¹⁾	311	267	△14.2% (△9.7%)	5,070	5,335	+5.2% (+8.2%)
T A L	179	709	+294.9% (+303.4%)	2,988	3,439	+15.1% (+18.3%)
第一生命ベトナム ⁽¹⁾	184	152	△17.6% (△14.1%)	575	610	+6.1% (+8.4%)
第一生命グループ計	3,827	2,788	▲27.2% (▲26.2%)	39,558	40,417	+2.2% (+2.8%)

	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	増減
第一生命	695	662	△ 32
訪問型代理店	52	22	△ 30
第一フロンティア生命	1,567	922	△ 644
第一生命の営業職 同、訪問型代理店	263	202	△ 60
同、訪問型代理店	11	19	+ 7
ネオファースト生命	888	72	△ 815
第一生命の営業職 同、訪問型代理店	131	2	△ 129
同、訪問型代理店	707	20	△ 686
国内生保事業計	3,150	1,658	△ 1,492

上段は円換算、下段は現地通貨建の変化率
海外 3 社計、グループ計の下段は為替変動の影響を除く伸び率

(1) プロテクトタイプ、第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。

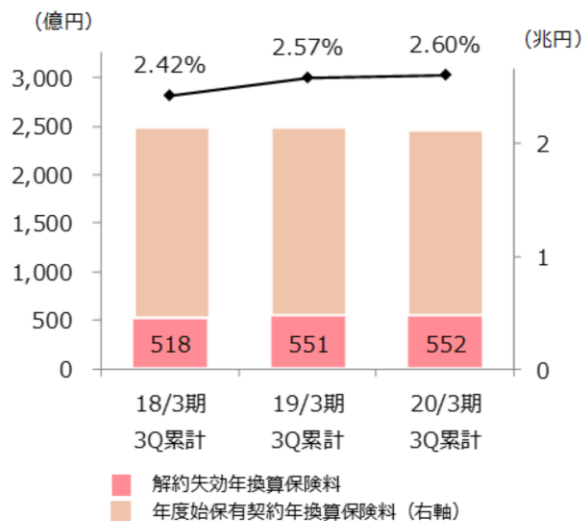
(億円)

	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	増減
基礎利益	3,377	2,933	△ 444
うち順ざや	795	596	△ 198
うち保険関係損益	2,583	2,337	△ 246
キャピタル損益	△ 434	△ 40	+ 394
うち有価証券売却損益	608	1,216	+ 607
うち金融派生商品損益	△ 261	△ 511	△ 249
うち為替差損益	△ 682	△ 712	△ 30
臨時損益	△ 617	△ 600	+ 17
うち新規追加責任準備金繰入額	△ 617	△ 598	+ 18
うち危険準備金繰入額	-	-	-
経常利益	2,325	2,292	△ 32

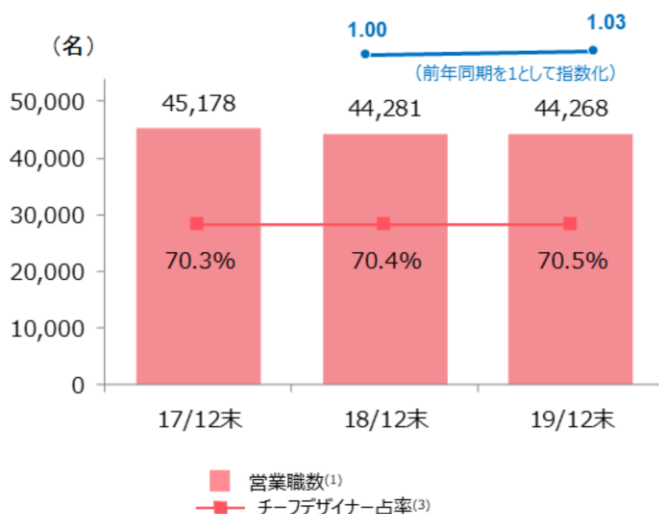
解約失効（個人保険・個人年金、年換算保険料ベース）

営業職数および生産性

解約失効率



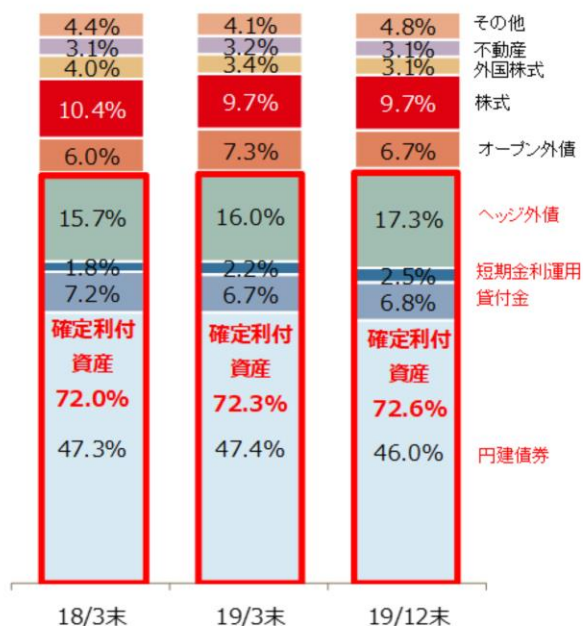
一人あたり営業収益価値⁽²⁾



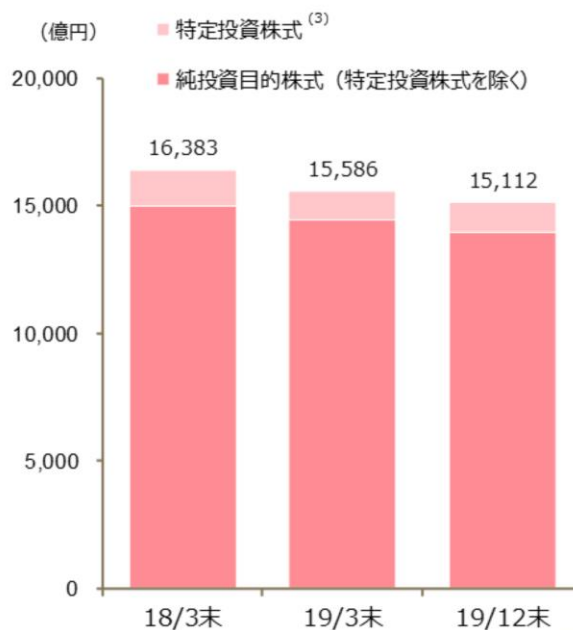
- (1) 営業職については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。
- (2) 各期間における営業収益価値を分子、各期間の営業職数（補助的業務に従事する者を除く）の平均値を分母として計算しています。営業収益価値とは、営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標であり、経済環境の変動要因を除外した新契約価値に相当します。
- (3) 所定の成績水準を満たす生涯設計デザイナーにライフプロフェッショナル職を加えた、第一生命の中核たる営業職の占率を指します。

第一生命業績 – 一般勘定資産運用の状況 (1)

資産の構成 (一般勘定) (1)



国内株式の簿価 (2)



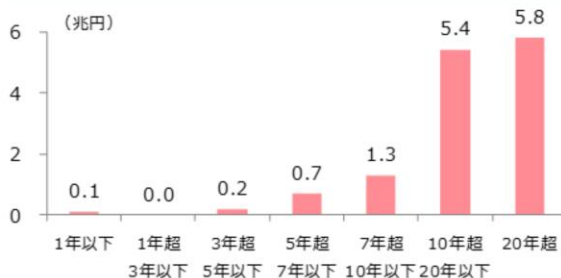
- (1) 貸借対照表価額ベース
 (2) 国内株式のうち時価のあるもの (子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)
 (3) 純投資目的以外の目的で保有する株式 (非上場国内株式、みなし保有株式は除く)

第一生命業績 - 一般勘定資産運用の状況 (2)

円建債券の内訳 (1)

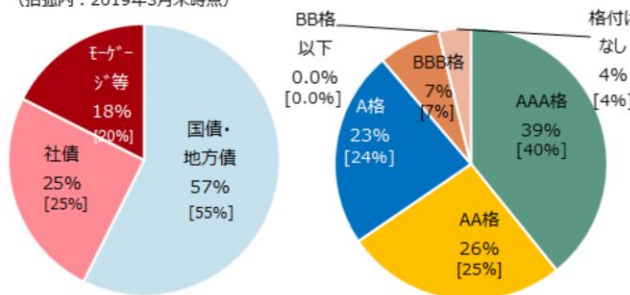


国債の残存期間別残高 (2) (2019年12月末)

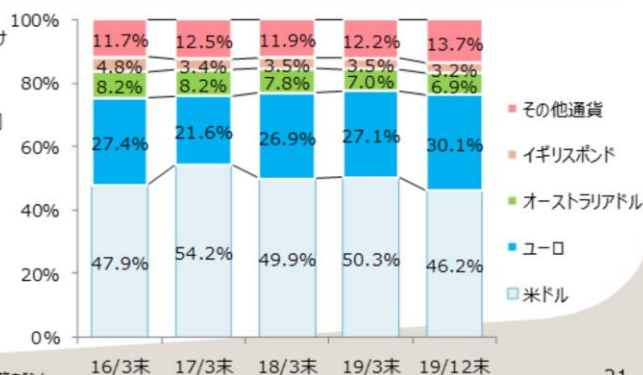


外貨建債券の内訳 (2)(3) (2019年12月末)

(括弧内: 2019年3月末時点)



外貨建債券の通貨別構成 (2)



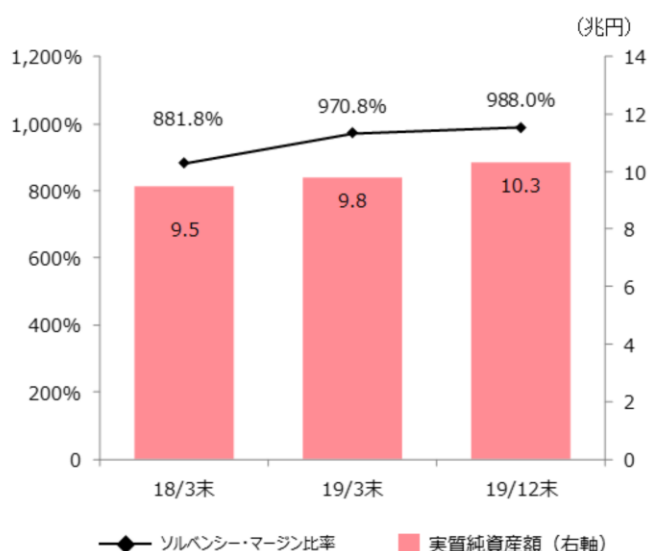
- (1) 簿価ベース
 (2) 貸借対照表価額ベース
 (3) 格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用、モーゲージ等を除く

含み損益（一般勘定）

	19/3末	19/12末	増減
有価証券	60,386	64,454	+4,067
国内債券	34,776	34,101	△674
国内株式	17,913	19,729	+1,815
外国債券	6,026	8,371	+2,344
外国株式	1,336	1,761	+425
不動産	2,742	3,326	+583
その他共計	63,339	68,092	+4,753

(億円)

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



<参考> 第一生命ホールディングスの
連結ソルベンシー・マージン比率：
2019年12月末 919.2%

	感応度 (1)	含み損益ゼロ水準 (2)
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 1,400億円の増減 (2019年3月末: 1,500億円)	日経平均株価 ¥10,200 (2019年3月末: ¥9,900)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 2,700億円の増減※ (2019年3月末: 2,700億円) ※その他有価証券区分: 300億円の増減 (2019年3月末: 300億円)	10年国債利回り 1.2%※ (2019年3月末: 1.2%) ※その他有価証券区分: 1.5% (2019年3月末: 1.4%)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 280億円の増減 (2019年3月末: 290億円)	ドル/円 \$1 = ¥107 (2019年3月末: ¥108)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度を記載しています。

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準を記載しています。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準を記載しています。

業績ハイライト (1)

(百万米ドル)

	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	前年同期比	
生保事業	△ 23.0	△ 24.5	△ 1.5	△ 6.5%
買収事業	208.2	247.9	+ 39.7	+ 19.1%
年金事業	142.0	135.3	△ 6.7	△ 4.7%
ステップ・リリー事業	76.1	71.2	△ 4.9	△ 6.5%
アセット・プロテクション事業	21.4	29.3	+ 7.9	+ 37.1%
ユー・ホールド	△ 58.4	△ 62.7	△ 4.3	△ 7.5%
税引前営業利益 (2)	366.3	396.4	+ 30.0	+ 8.2%
キャピタル損益 (運用収支)	△ 165.7	340.2	+ 506.0	--
キャピタル損益 (金融派生商品損益)	126.6	△ 303.9	△ 430.5	--
法人税等	61.5	85.8	+ 24.2	+ 39.3%
純利益	265.7	347.0	+ 81.3	+ 30.6%

<参考>

(円)

	18/9末	19/9末
為替レート (米ドル)	113.57	107.92

(1) 米プロテクトティブの決算日は12月31日です。

(2) 税引前営業利益(Pre-tax Adjusted Operating Income)とは、当期利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標です。

新契約年換算保険料

		(百万豪ドル)			
		18/3期 3Q累計	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	増減
個人保険	新契約	104	88	63	△ 25
	既契約増減 ⁽²⁾	89	83	102	+18
	小計	194	171	165	△ 6
団体保険	新契約	160	21	699	+678
	既契約増減 ⁽²⁾	△26	36	△ 7	△ 43
	小計	133	58	692	+634
アステロン・ライフ	新契約	–	–	10	+10
	既契約増減 ⁽²⁾	–	–	59	+59
	小計	–	–	69	+69
合計		328	229	927	+697

※既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す

純利益と基礎的収益力の差異

(百万豪ドル)			
	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	前年 同期比
純利益(A) ⁽²⁾	74	61	△18%
修正額(B) ⁽³⁾	42	27	
うち負債割引率の変化	△ 1	42	
うち償却負担	14	△ 45	
うち優先株配当	7	6	
その他	22	23	
基礎的収益力=(A)+(B) (Underlying profit)	117	88	△24%

<参考>

	18/12末	19/12末
為替レート (豪ドル)	78.18円	76.52円

- (1) 連結対象の豪持株会社 (TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd) に係る数値
(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示
(3) アステロン・ライフの統合に係るVOBA(value of business acquired)の償却及び統合コストを含む

連結損益計算書

(億円)

	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	増減
経常収益	52,893	53,666	+772
保険料等収入	39,444	36,535	△2,908
資産運用収益	11,687	14,991	+3,303
うち利息・配当金等収入	9,167	9,519	+352
うち有価証券売却益	1,884	2,220	+335
うち金融派生商品収益	-	-	-
うち為替差益	-	-	-
うち特別勘定資産運用益	-	1,307	+1,307
その他経常収益	1,761	2,139	+378
経常費用	49,957	51,046	+1,088
うち保険金等支払金	27,452	35,168	+7,715
うち責任準備金等繰入額	9,884	4,456	△5,428
うち資産運用費用	4,796	3,979	△816
うち有価証券売却損	1,263	365	△897
うち有価証券評価損	33	65	+31
うち金融派生商品費用	276	773	+497
うち為替差損	1,504	1,928	+424
うち特別勘定資産運用損	943	-	△943
うち事業費	5,195	5,037	△157
経常利益	2,935	2,619	△315
特別利益	22	3	△18
特別損失	213	193	△20
契約者配当準備金繰入額	611	606	△5
税金等調整前四半期純利益	2,132	1,823	△308
法人税等合計	623	549	△74
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,508	1,274	△234

連結貸借対照表

(億円)

	19/3末	19/12末	増減
資産の部合計	559,412	609,434	+50,021
うち現預金・コール	12,556	15,941	+3,384
うち買入金銭債権	1,991	2,197	+205
うち有価証券	470,650	497,036	+26,385
うち貸付金	33,532	36,015	+2,483
うち有形固定資産	11,452	11,654	+201
うち繰延税金資産	171	148	△23
負債の部合計	522,276	564,283	+42,007
うち保険契約準備金	482,794	506,670	+23,875
うち責任準備金	473,257	496,821	+23,563
うち社債	10,622	11,435	+812
うちその他負債	14,209	25,939	+11,729
うち退職給付に係る負債	4,223	4,245	+21
うち価格変動準備金	2,182	2,353	+170
うち繰延税金負債	3,110	5,411	+2,301
純資産の部合計	37,135	45,150	+8,014
うち株主資本合計	17,088	17,370	+282
うちその他の包括利益累計額合計	20,036	27,769	+7,733
うちその他有価証券評価差額金	21,015	29,003	+7,987
うち土地再評価差額金	△134	△129	+4

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含みます。これらについては益又は損が発生するものの、業績に大きな影響を与えるものではありません。
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

損益計算書

(億円)

	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	増減
経常収益	26,627	26,685	+57
保険料等収入	16,901	17,315	+414
資産運用収益	7,930	7,982	+52
うち利息・配当金等収入	5,949	5,711	△238
うち有価証券売却益	1,847	1,564	△282
うち金融派生商品収益	-	-	-
うち特別勘定資産運用益	-	614	+614
その他経常収益	1,795	1,386	△409
経常費用	24,301	24,392	+90
うち保険金等支払金	16,058	15,640	△418
うち責任準備金等繰入額	62	1,627	+1,565
うち資産運用費用	3,053	2,164	△889
うち有価証券売却損	1,238	348	△889
うち有価証券評価損	29	49	+19
うち金融派生商品費用	261	511	+249
うち為替差損	682	712	+30
うち特別勘定資産運用損	275	-	△275
うち事業費	2,860	2,907	+46
経常利益	2,325	2,292	△32
特別利益	21	3	△18
特別損失	174	149	△24
契約者配当準備金繰入額	611	606	△5
税引前四半期純利益	1,561	1,540	△21
法人税等合計	438	435	△3
四半期純利益	1,122	1,104	△17

貸借対照表

(億円)

	19/3末	19/12末	増減
資産の部合計	359,471	372,981	+13,510
うち現預金・コール	7,970	9,221	+1,250
うち買入金銭債権	1,991	2,197	+205
うち有価証券	307,555	318,919	+11,364
うち貸付金	23,482	24,508	+1,026
うち有形固定資産	11,228	11,365	+136
うち繰延税金資産	-	-	-
負債の部合計	330,618	341,535	+10,916
うち保険契約準備金	308,826	310,296	+1,470
うち責任準備金	303,537	305,103	+1,565
うち危険準備金	5,984	5,984	-
うち社債	4,762	4,762	-
うちその他負債	6,394	15,869	+9,474
うち退職給付引当金	4,006	4,046	+40
うち価格変動準備金	1,984	2,112	+127
うち繰延税金負債	2,011	3,195	+1,184
純資産の部合計	28,852	31,446	+2,594
うち株主資本合計	6,841	6,070	△771
うち評価・換算差額等合計	22,011	25,376	+3,365
うちその他有価証券評価差額金	22,111	25,399	+3,287
うち土地再評価差額金	△134	△129	+4

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含みます。これらについては益又は損が発生するものの、業績に大きな影響を与えるものではありません。
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一フロンティア生命－財務諸表（要約）

損益計算書

(億円)

	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	増減
経常収益	15,201	14,364	△ 836
うち保険料等収入	14,013	10,141	△ 3,872
うち資産運用収益	1,187	2,795	+ 1,608
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益	36	-	△ 36
うち為替差益	-	-	-
経常費用	14,961	14,530	△ 430
うち保険金等支払金	5,286	12,631	+ 7,344
うち責任準備金等繰入額	7,413	26	△ 7,386
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額	278	△ 203	△ 482
うち危険準備金繰入額	61	△ 349	△ 410
うち資産運用費用	1,598	1,337	△ 260
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失	-	89	+ 89
うち為替差損	822	1,213	+ 391
うち事業費	578	460	△ 117
経常利益（△は損失）	240	△ 165	△ 405
特別利益	-	-	-
特別損失	38	43	+ 5
法人税等合計	82	0	△ 82
四半期純利益（△は損失）	119	△ 208	△ 328
【参考】			
四半期純利益（△は損失）	119	△ 208	△ 328
最低保証リスク関連損益 ⁽¹⁾	△ 168	△ 46	+ 121
市場価格調整(MVA)による損益 ⁽²⁾	38	△ 924	△ 963
事業利益	431	455	+ 24
危険準備金繰入、価格変動準備金繰入、税金	△ 181	306	+ 487

貸借対照表

(億円)

	19/3末	19/12末	増減
資産の部合計	87,554	92,984	+ 5,430
うち現金・預金・コール	2,099	2,817	+ 718
うち有価証券	78,580	78,291	△ 288
負債の部合計	85,607	89,845	+ 4,238
うち保険契約準備金	82,414	81,012	△ 1,401
うち責任準備金	82,217	80,789	△ 1,428
うち危険準備金	1,314	965	△ 349
純資産の部合計	1,947	3,139	+ 1,192
うち株主資本合計	1,500	1,291	△ 208
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△ 349	△ 558	△ 208
うちその他有価証券評価差額金	446	1,847	+ 1,401

- (1) 最低保証リスク関連損益には、最低保証リスクに係る責任準備金繰入額及び同ヘッジ損益に加え、変動商品の危険保険料や最低保証に係る支払、再保険収支等が含まれます（19/3期3Q累計：73億円、20/3期3Q累計：△160億円）。
- (2) 市場価格調整（MVA）に係る責任準備金繰入／戻入のうち、資産運用損益勘定で相殺されて、経常利益に影響を及ぼさない部分は除いています。

以下の項目については、責任準備金の戻入／繰入や関連する資産の含み益／損等と相殺されるものを含みます。これらについては益又は損が発生するものの、業績に大きな影響を与えるものではありません。

（特別勘定資産運用益／損 為替差益／損 金融派生商品収益／費用）

損益計算書 (1)(2)

(百万米ドル)

	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	増減
経常収益	6,896	9,044	+2,148
保険料等収入	4,222	4,373	+151
資産運用収益	2,304	3,892	+1,588
その他経常収益	369	778	+408
経常費用	6,568	8,611	+2,043
保険金等支払金	3,982	4,152	+170
責任準備金等繰入額	1,556	2,984	+1,428
資産運用費用	196	585	+388
事業費	656	733	+77
その他経常費用	176	154	△21
経常利益	328	433	+105
特別利益	-	0	+0
特別損失	0	0	△0
法人税等合計	61	85	+24
四半期純利益	265	347	+81

貸借対照表 (1)(2)

(百万米ドル)

	18/12末	19/9末	増減
資産の部合計	89,928	119,730	+29,801
うち現預金	251	390	+138
うち有価証券	69,105	84,996	+15,890
うち貸付金	9,426	11,026	+1,599
うち有形固定資産	191	221	+29
うち無形固定資産	3,117	3,447	+330
うちのれん	825	825	-
うちその他の無形固定資産	2,259	2,593	+334
うち再保険貸	188	11,468	+11,280
負債の部合計	84,161	110,439	+26,278
うち保険契約準備金	75,919	99,192	+23,273
うち再保険借	279	432	+153
うち社債	4,338	4,617	+279
うちその他負債	2,702	4,724	+2,021
純資産の部合計	5,767	9,290	+3,523
株主資本合計	7,193	7,739	+546
その他の包括利益累計額合計	△1,425	1,551	+2,976

- (1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております。
 (2) 米プロテktivの決算日は12月31日です。

損益計算書 (1)(2)

(百万豪ドル)

	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	増減
経常収益	2,816	4,204	+1,387
保険料等収入	2,652	3,812	+1,160
資産運用収益	71	221	+150
その他経常収益	92	169	+76
経常費用	2,709	4,111	+1,402
保険金等支払金	1,881	2,809	+927
責任準備金等繰入額	192	426	+234
資産運用費用	34	37	+3
事業費	515	709	+194
その他経常費用	85	127	+42
経常利益	107	92	△14
特別損益	-	-	-
法人税等合計	32	30	△1
四半期純利益	74	61	△13
基礎的収益力 (Underlying profit)	117	88	△28

貸借対照表 (1)(2)

(百万豪ドル)

	19/3末	19/12末	増減
資産の部合計	11,341	11,934	+592
現預金	933	863	△70
有価証券	6,543	6,934	+390
有形固定資産	0	49	+48
無形固定資産	1,122	1,101	△20
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	335	315	△20
再保険貸	285	282	△3
その他資産	2,242	2,513	+270
繰延税金資産	213	189	△24
負債の部合計	8,354	8,922	+567
保険契約準備金	6,736	7,183	+447
再保険借	363	366	+3
社債	246	246	△0
その他負債	1,008	1,125	+116
繰延税金負債	-	-	-
純資産の部合計	2,986	3,012	+25
株主資本合計	2,986	3,012	+25
資本金	2,130	2,130	-
利益剰余金	855	881	+25

(1) 連結対象の豪持株会社 (TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd) に係る数値

(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております (基礎的収益力を除く)

主要企業別損益計算書（要約）



Dai-ichi Life
Holdings

(億円)

	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			プロテクト			TAL			連結		
	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	増減	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	増減	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	増減	18/12期 3Q累計	19/12期 3Q累計	増減	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	増減	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	増減
経常収益	26,627	26,685	+57	15,201	14,364	△836	1,259	1,000	△258	7,831	9,760	+1,928	2,201	3,217	+1,015	52,893	53,666	+772
保険料等収入	16,901	17,315	+414	14,013	10,141	△3,872	1,258	999	△258	4,795	4,720	△75	2,073	2,917	+844	39,444	36,535	△2,908
資産運用収益	7,930	7,982	+52	1,187	2,795	+1,608	0	0	+0	2,616	4,200	+1,584	56	169	+113	11,687	14,991	+3,303
うち利息・配当金等収入	5,949	5,711	△238	1,109	1,345	+236	0	0	+0	2,079	2,396	+317	3	27	+23	9,167	9,519	+352
うち有価証券売却益	1,847	1,564	△282	15	618	+603	-	-	-	20	37	+17	-	-	-	1,884	2,220	+335
うち金融派生商品収益	-	-	-	-	137	+137	-	-	-	71	-	△71	-	-	-	-	-	-
うち為替差益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち特別勘定資産運用益	-	614	+614	-	693	+693	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,307	+1,307
その他経常収益	1,795	1,386	△409	0	1,428	+1,428	0	0	+0	419	839	+419	72	129	+57	1,761	2,139	+378
経常費用	24,301	24,382	+80	14,961	14,530	△430	1,319	1,110	△208	7,459	9,293	+1,834	2,118	3,146	+1,028	49,957	51,046	+1,088
うち保険金等支払金	16,058	15,640	△418	5,286	12,631	+7,344	60	196	+136	4,322	4,461	△139	1,471	2,149	+678	27,452	35,168	+7,715
うち責任準備金等繰入額	62	1,627	+1,565	7,413	26	△7,386	779	716	△62	1,767	3,221	+1,453	150	326	+176	9,984	4,456	△5,428
うち資産運用費用	3,053	2,164	△889	1,598	1,337	△260	0	0	+0	223	632	+408	26	29	+2	4,796	3,979	△816
うち有価証券売却損	1,238	348	△889	11	2	△8	-	-	-	13	13	+0	-	-	-	1,263	365	△897
うち有価証券評価損	29	49	+19	-	-	-	-	-	-	4	15	+11	-	-	-	33	65	+31
うち金融派生商品費用	261	511	+249	85	-	△85	-	-	-	-	399	+399	-	-	-	276	773	+497
うち為替差損	682	712	+30	822	1,213	+391	-	-	-	0	0	+0	0	2	+2	1,504	1,928	+424
うち特別勘定資産運用損	275	-	△275	668	-	△668	-	-	-	-	-	-	-	-	-	943	-	△943
うち事業費	2,860	2,907	+46	578	460	△117	476	193	△282	745	791	+46	402	543	+140	5,195	5,037	△157
経常利益	2,325	2,292	△32	240	△165	△405	△60	△109	△49	372	467	+94	83	70	△13	2,935	2,619	△315
特別利益	21	3	△18	-	-	-	-	0	+0	-	0	+0	-	-	-	22	3	△18
特別損失	174	149	△24	38	43	+5	0	0	△0	0	0	△0	-	-	-	213	193	△20
契約者配当準備金繰入額	611	606	△5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	611	606	△5
税金等調整前当期純利益	1,561	1,540	△21	202	△208	△410	△60	△109	△49	371	467	+95	83	70	△13	2,132	1,823	△308
法人税等合計	438	435	△3	82	0	△82	0	0	+0	69	92	+22	25	23	△1	623	549	△74
少数株主損益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期純利益	1,122	1,104	△17	119	△208	△328	△60	△110	△49	301	374	+72	58	47	△11	1,508	1,274	△234

主要企業別貸借対照表（要約）



Dai-ichi Life
Holdings

(億円)

	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			プロテクト			TAL			連結		
	19/3末	19/12末	増減	19/3末	19/12末	増減	19/3末	19/12末	増減	18/12末	19/9末	増減	19/3末	19/12末	増減	19/3末	19/12末	増減
資産の部合計	359,471	372,981	+13,510	87,554	92,984	+5,430	1,574	2,152	+578	99,820	129,213	+29,392	8,918	9,131	+212	559,412	609,434	+50,021
うち現金・コール	7,970	9,221	+1,250	2,099	2,817	+718	861	1,347	+485	279	420	+141	733	660	-73	12,556	15,941	+3,384
うち買入金銭債権	1,991	2,197	+205	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,991	2,197	+205
うち有価証券	307,555	318,919	+11,364	78,580	78,291	-289	152	297	+144	76,707	91,728	+15,020	5,145	5,306	+160	470,650	497,036	+26,385
うち貸付金	23,482	24,508	+1,026	-	-	-	0	3	+2	10,463	11,899	+1,435	14	13	-1	33,532	36,015	+2,483
うち有形固定資産	11,228	11,365	+136	3	3	+0	2	2	+0	212	239	+26	0	37	+37	11,452	11,694	+241
うち無形固定資産	1,069	1,119	+50	76	88	+11	3	13	+10	3,460	3,721	+260	882	842	-40	4,448	4,743	+294
負債の部合計	330,618	341,535	+10,916	85,607	89,845	+4,238	1,377	2,065	+688	93,418	119,186	+25,767	6,381	6,643	+261	522,276	564,283	+42,007
うち保険契約準備金	308,826	310,296	+1,470	82,414	81,012	-1,401	1,308	2,024	+716	84,270	107,048	+22,777	5,297	5,497	+199	482,794	506,670	+23,875
うち責任準備金	303,537	305,103	+1,565	82,217	80,789	-1,428	1,303	2,016	+712	83,491	106,234	+22,743	2,050	1,912	-138	473,257	496,821	+23,563
うち社債	4,762	4,762	-	-	-	-	-	-	-	4,815	4,583	-232	194	188	-6	10,622	11,435	+812
うち退職給付に係る負債	4,006	4,046	+40	-	-	-	-	-	-	90	65	-25	-	-	-	4,223	4,245	+21
うち商格変動準備金	1,984	2,112	+127	198	241	+43	0	0	+0	-	-	-	-	-	-	2,182	2,353	+170
うち繰延税金負債	2,011	3,195	+1,184	173	718	+544	0	0	+0	931	1,523	+591	-	-	-	3,110	5,411	+2,301
純資産の部合計	28,852	31,446	+2,594	1,947	3,139	+1,192	196	86	-109	6,402	10,026	+3,624	2,537	2,488	-48	37,135	43,150	+6,014
うち株主資本合計	6,841	6,070	-771	1,500	1,291	-208	195	85	-110	8,457	9,047	+589	2,804	2,824	+19	17,088	17,370	+282
うちその他の包括利益累計額合計	22,011	25,376	+3,365	446	1,847	+1,401	0	0	+0	2,055	979	+3,035	2,677	2,335	-342	20,036	27,769	+7,733
うちその他の包括利益累計額合計	22,111	25,399	+3,287	446	1,847	+1,401	0	0	+0	2,155	1,698	+3,263	-	-	-	21,015	29,003	+7,987
うち土地再評価差額金	△134	△129	+4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△134	△129	+4

	(億円)		
	19/3末	19/12末	増減
ソルベンシー・マージン総額(A)	73,344	85,394	+12,049
資本金等 ⁽¹⁾	13,147	13,820	+673
価格変動準備金	2,182	2,353	+170
危険準備金	7,309	6,963	△346
一般貸倒引当金	1	1	+0
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	26,393	35,975	+9,582
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	1,998	2,447	+449
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	△151	△156	△5
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	23,345	23,408	+62
負債性資本調達手段等	8,442	9,092	+650
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△7,287	△6,802	+485
控除項目	△2,650	△2,783	△132
その他	613	1,071	+458
リスクの合計額(B) $\sqrt{(R_1^2 + R_5^2 + R_8 + R_9)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_6$	16,864	18,579	+1,714
保険リスク相当額 R_1	1,232	1,281	+49
一般保険リスク相当額 R_5	59	49	△9
巨大災害リスク相当額 R_8	15	14	△1
第三分野保険の保険リスク相当額 R_9	1,944	1,932	△12
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_6	-	-	-
予定利率リスク相当額 R_2	2,618	2,545	△72
最低保証リスク相当額 $R_7^{(2)}$	728	694	△33
資産運用リスク相当額 R_3	12,803	14,614	+1,810
経営管理リスク相当額 R_4	388	422	+34
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	869.7%	919.2%	+49.5%

(1) 社外流出予定額及びその他の包括利益累計額等を除いています。

(2) 標準的方法を用いて算出しています。

本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社
経営企画ユニット IRグループ
電話：050－3780－6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。